

令和6年度福島市水道事業会計予算

～ 逆境への挑戦 ～



福島市水道局キャラクター：ピッチャん

福島市水道局

令和6年度福島市水道事業会計当初予算の主な内容

1 予算概要

2 ふくしま水道ビジョンに基づく主な事業について

<参考>

- ◆ 収益的収入及び支出予算額
- ◆ 資本的収入及び支出予算額

1 予算概要

(1) 予算規模

(単位：千円)

項 目	令和6年度当初 (A)	令和5年度当初 (B)	比較増減 (A) - (B)	増減率 (%)
①収益的收入	7,638,062	7,688,253	△50,191	△0.65
水道料金	6,906,614	6,964,404	△57,790	△0.83
有収水量 (m³)	26,099,630	26,495,355	△395,725	△1.49
②収益的支出	7,685,778	7,566,948	118,830	1.57
③純損益 ①-②	△47,716	121,305	△169,021	△139.34
④資本的收入	1,098,688	1,561,478	△462,790	△29.64
⑤資本的支出	3,519,241	3,721,208	△201,967	△5.43
⑥資本的収支不足額④-⑤	△2,420,553	△2,159,730	260,823	12.08
⑦支出合計②+⑤	11,205,019	11,288,156	△83,137	△0.74
補正前倒し含む	11,933,688	11,288,156	645,532	5.72
⑧年度末繰越財源	2,456,562	3,416,502	△959,940	△28.10

▼水道料金の推計

コロナ禍が収束し、サービス業の水道料金も回復傾向にあります。それ以上に世帯構成人数の減少から一般家庭の水道料金収入が減少しているため例年より厳しく推計しました。

▼物価上昇の振り分け

・4週8休 4% ・管工事 10% ・舗装工事 7% ・業務委託 5%

※⑧R5年度末繰越財源については3月補正後の数値となっています。

(2) 収益的収入及び支出予算額 主な事業

新

・・・新規事業

拡

・・・一部新規及び事業の拡充

I：管路更生工事ほか

上名倉系主要配水管350mm管路更生工事ほか 103,160千円

鋼管内面における腐食の抑制を目的とした管更生を施し、既存施設の延命を図り長期的な運用に備えます。



Ⅲ：受・配水池塗装替工事

山神配水池ほか塗装替修繕工事ほか

29,564千円

施設の防水塗装及び外壁面の剥がれ・劣化による鉄筋コンクリート内部への水の侵入による鉄筋の腐食を防止するため、塗装替を行います。



Ⅱ：用途廃止施設整理事業

旧渡利浄水場ほか施設撤去工事 820,765千円
(空き家対策総合支援事業 補助額：8,859千円)

継続費を設定し、老朽化した施設の撤去工事を実施します。



桜台高架水槽



蓬萊高架水槽



旧渡利浄水場

Ⅳ：配水量分析業務委託ほか

3,438千円

新 配水池系統別の分析を行い、区域の健全性及び脆弱性を把握し、漏水防止及び管路更新における今後の対応方針につなげ、水道事業における経営基盤の強化を図ります。

Ⅴ：渡利大橋水管橋ほか点検業務委託ほか

3,306千円

新 目視点検では確認できない水管橋等をドローンにより点検します。

(3) 資本的収入及び支出予算額 主な事業

I：土湯地区水道施設整備事業

新

脆弱な旧簡易水道の基盤を強化します！！

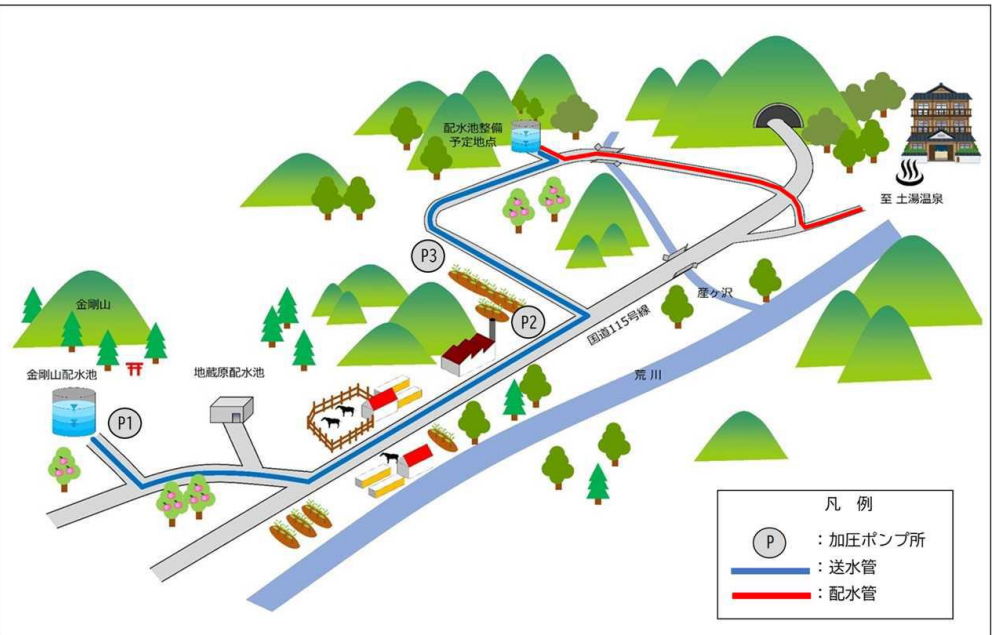
事業期間：令和6年度～9年度（継続費）

総事業費：3,384,700千円

令和6年度予算：167,200千円

企業団水(ダム水)供給のための配水施設を整備し、土湯地区の安定供給を確保します。

令和6年度は実施設計委託、令和7年度から管路工事や配水池等築造工事に着手し、令和10年度の給水開始を目指します。また、実施設計及び施工については、事業の効率化とスピードアップが期待できる「設計施工一括方式(DB方式)」を採用し、民間活力による事業推進を図ります。



II：老朽管更新事業

令和6年度予算：1,061,165千円

拡 (12月補正前倒し：273,713千円 3月補正前倒し：454,956千円)

令和6年度更新延長：6.3km

能登半島地震の被害状況を踏まえ、国補助を積極的に活用し、老朽管更新事業を加速します。

～基幹管路耐震適合率～

令和5年度末
96.3%

令和6年度末
98.1%

令和7年度末
100%予定

※ 全国平均41.2% (R3末)

《新規事業》

茶臼森系配水管整備委託事業

設計期間：令和6年度～7年度（継続費）

委託費：34,100千円

令和6年度予算：23,100千円

新

III：その他更新事業

舘ノ前加压ポンプ所施設改修事業

(水インフラのCO2削減設備導入支援事業 補助率：1/2)

事業期間：令和6年度～8年度（継続費）

総事業費：222,200千円

令和6年度予算：67,100千円

水利用状況を考慮して舘ノ前加压ポンプ所のポンプ機能のダウンサイジングを実施するにあたり、施設流入側の老朽管更新及び施設建屋の改修、ポンプ井の解体を行います。

新

2 ふくしま水道事業ビジョンに基づく主な事業

新

・・・新規事業

拡

・・・一部新規及び事業の拡充

<基本方針1>

安全でおいしい水の供給

286,143千円

<基本方針2>

災害に強い水道の構築

2,165,331千円

12月補正前倒し 273,713千円

3月補正前倒し 454,956千円

<基本方針3>

持続可能な水道経営

1,811,466千円

<基本方針4>

地球にやさしい水道へ挑戦

1,423千円（支出）

16,600千円（収入）

基本方針1 安全でおいしい水の供給

286,143千円

◆水質管理を徹底し、いつでも良質で安全なおいしい水を供給できる水道を目指します。

(1) 水質管理の徹底 286,143千円

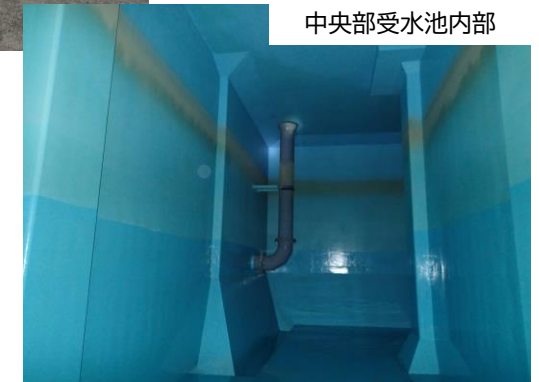
【主な事業】

- ① 定期的な水質検査 16,147千円
- ② 水質確保のための排水施設整備 5,022千円
- ③ 受・配水池の敷地内環境整備及び水槽内清掃委託 81,409千円
- ④ 鉛製給水管の解消促進（補助金交付制度） 500千円
- ⑤ 水道施設（全86施設）の運転管理業務の共同発注 111,416千円
R6年度から福島地方水道用水供給企業団及び一部田園中枢都市圏構成事業体（川俣町）との共同発注を行う予定です。

拡



中央部受水池外部



中央部受水池内部

基本方針２ 災害に強い水道の構築 2, 165, 331千円

12月補正前倒し 273,713千円
3月補正前倒し 454,956千円

◆適切な施設管理と維持管理の強化に努め相互応援体制の確立を図り、災害に強い水道を目指します。

(1) 施設更新と維持管理の強化 1, 389, 642千円 (12月補正前倒し 273,713千円 3月補正前倒し 454,956千円)

【主な事業】

- | | | | |
|---|--------------------------------------|--------------------|---|
| 拡 | ① 老朽管更新事業に係る工事・設計委託など（国庫補助分・単独分） | <u>1,061,165千円</u> | 12月補正前倒し <u>273,713千円</u>
3月補正前倒し <u>454,956千円</u> |
| | ② 小規模簡易DB方式による地元工事業者の設計技術の向上と育成 | | |
| 新 | ③ 受・配水池の内・外部塗装修繕及び電気設備取替など水道施設の保全・更新 | <u>145,474千円</u> | |
| | ④ 主要配水管の管路更生、電食防止器具の整備による長寿命化 | <u>115,943千円</u> | |
| 新 | ⑤ ドローンを活用した水管橋点検業務委託ほか | <u>3,306千円</u> | |
| | ⑥ 水道施設情報管理システムの運用・保守 | <u>25,564千円</u> | |



④点検箇所：渡利大橋

(2) 水道施設の機能強化 597, 833千円

【主な事業】

- | | |
|----------------------|------------------|
| ① 水道施設耐震化事業（阿武隈川水管橋） | <u>313,885千円</u> |
| ② 西部地区上水道整備事業 | <u>280,551千円</u> |



①阿武隈川水管橋

基本方針２ 災害に強い水道の構築

（３）災害対策の強化 １７７，８５６千円

【主な事業】

- ① 官民連携による応急復旧訓練の実施（福島地区管工事協同組合との協働） 445千円
新たに不断水による分水栓交換訓練を実施します。
- ② 平和通り飲料水兼用耐震貯水槽を使用した応急給水訓練の実施 145千円
第一小学校の児童や町内会、近隣事業所の方々にご参加いただいています。
- ③ 飲料水兼用耐震貯水槽、緊急遮断弁の維持管理 696千円
- ④ 土湯地区水道施設整備事業（再掲） 175,934千円
企業団水（ダム水）供給のための配水施設を整備し、土湯地区の安定供給を確保します。



① 応急復旧訓練の様子 漏水修繕訓練



① 応急復旧訓練の様子 分岐施工訓練



② 応急給水訓練の様子

基本方針3 持続可能な水道経営

1, 811, 466千円

◆お客さまのニーズの把握と健全経営に努め、持続可能な水道経営を目指します。

(1) 経営基盤の強化 1, 753, 645千円

【主な事業】

- ① 有収率向上対策 57,670千円
漏水調査業務委託、人工衛星画像を用いたAIによる漏水リスク評価、配水量分析業務委託
- ② 水道未加入世帯への加入促進（工事助成・資金融資あっせん制度） 15,450千円
- ③ 財務会計システムと連携した電子決裁システムの導入
コピー用紙の使用量抑制、会計処理・文書管理業務の効率化を図ります。
- ④ スマートメーターを活用した水利用実態調査業務委託
- ⑤ 廃止施設の解体撤去（旧渡利浄水場、蓬萊高架水槽、桜台高架水槽）（再掲） 820,765千円
- ⑥ 水道料金等徴収業務委託、配給水管緊急修繕事業 469,150千円

(2) 組織力の強化 17, 487千円

【主な事業】

- ① 各種研修による人材育成・技術継承の推進、先進技術等視察研修 4,122千円
- ② 資格取得等助成制度の拡充（R6年度から準中型運転免許を追加） 515千円
- ③ 優良指定給水装置工事事業者の表彰（10周年を記念して特別賞を設立） 120千円

①局内研修：水道技術講話



基本方針3 持続可能な水道経営

(3) 戦略的な広報広聴の推進 36,326千円

【主な事業】

- ① ペットボトル「ふくしまの水」を活用した水需要喚起 17,487千円
- ② ももりんウォータークラス、出前教室・出前講座（小学4年生・一般市民） 53千円
- ③ 水道まつりの開催 782千円
- ④ 水道局広報紙「SuRiKaMi」の発行（年4回+増刊号） 9,479千円
- 新** ⑤ 水道通水100周年記念事業 5,794千円
通水100周年（R7.4.1）を記念して式典・記念誌の準備・広報、マイボトル対応冷水機の設置などを行います。

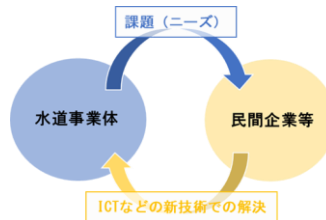
②水道出前教室



(4) 水道事業の多様な連携の推進 328千円

【主な事業】

- ① 水道ICT情報連絡会との連携 230千円
- ② ふくしま田園中枢都市圏
構成市町村等との連携 26千円
水道施設運転管理業務を企業団・川俣町と共同発注(再掲)
- ③ 撤去メーター分解分別作業委託 72千円
障がい者就労施設との連携



(5) 経営戦略の見直し 3,680千円

【主な事業】

- 新** ① 次期ふくしま水道事業ビジョン2026及び
水道事業経営計画の策定（計画期間：R8～17年度）
- 配水量分析業務委託・スマートメーターを活用した
水利用実態調査業務委託（再掲）により計画の基礎
となるデータの収集・解析を図ります。

基本方針4 地球にやさしい水道へ挑戦

支出 1, 4 2 3 千円
収入 1 6, 6 0 0 千円

◆良質な水道水の源となる水源を今後も保護しながら、自然環境への負荷低減を目指します。

(1) 水源周辺環境の保全 1 0 3 千円

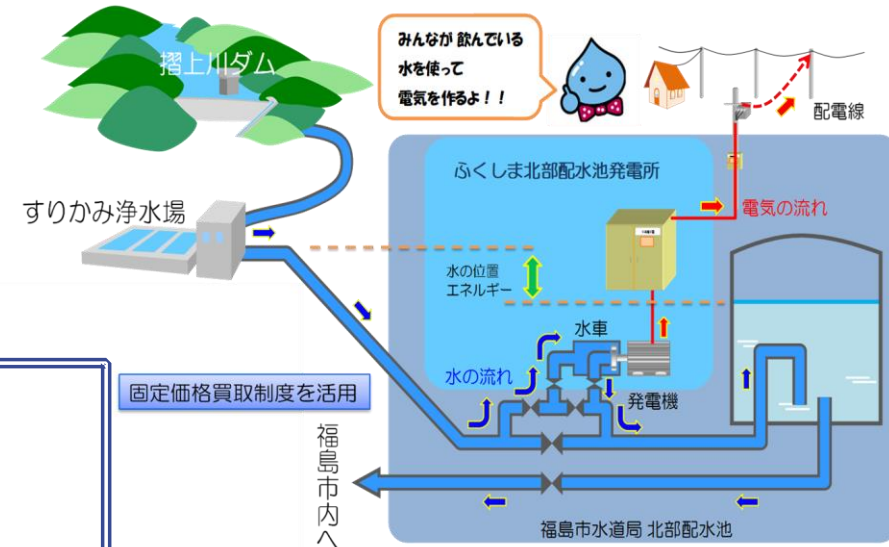
【主な事業】

- ① 水源保全活動団体への助成 103千円

(2) 環境負荷の低減 収入 1 6, 6 0 0 千円 支出 1, 3 2 0 千円

【主な事業】

- ① 北部配水池における小水力発電事業 3,221千円 (収入)
R5.4月に2箇所目となる中央部受水池についても基本契約を締結。
R9年度の運用開始を予定しています。
- 新** ② 水インフラのCO2削減設備導入支援事業 (環境省補助金) 13,379千円 (収入)
水道設備 (ポンプ) をCO2削減のため高効率設備に更新します。
対象事業: 館ノ前加圧ポンプ所改修事業 (再掲) 補助率: 1/2
- 拡** ③ 水道施設LED化事業 1,320千円
- 新** ④ ペーパーレスオフィスへの挑戦 2030年までに**半減** 55万枚⇒27.5万枚
財務会計システムと連携した電子決裁システムの導入など



①北部配水池発電所



<参考>

◆ 収益的收入及び支出予算額

(単位：千円)

項 目	令和6年度当初 (A)	令和5年度当初 (B)	比較増減 (A) - (B)
収入	7,638,062	7,688,253	△50,191
水道料金	6,906,614	6,964,404	△57,790
一般会計補助金	57,664	60,124	△2,460
加入金	150,964	164,098	△13,134
長期前受金戻入	325,034	307,462	17,572
その他収入	197,786	192,165	5,621
支出	7,685,778	7,566,948	118,830
受水費	2,480,712	2,501,240	△20,528
修繕費、維持管理費等	1,588,731	1,628,774	△40,043
減価償却費等	2,730,011	2,461,991	268,020
人件費	677,386	755,787	△78,401
支払利息等	208,938	219,156	△10,218
純損益	△47,716	121,305	△169,021

◆ 資本的収入及び支出予算額

(単位：千円)

項 目	令和6年度当初 (A)	令和5年度当初 (B)	比較増減 (A)－ (B)
収入	1,098,688	1,561,478	△462,790
企業債	823,600	1,252,000	△428,400
国庫補助金	151,643	132,100	19,543
一般会計補助金	30,136	38,076	△7,940
負担金	93,309	139,302	△45,993
支出	3,519,241	3,721,208	△201,967
建設改良費	1,219,500	955,908	263,592
老朽管更新事業費	1,061,165	1,615,378	△554,213
土湯地区水道施設整備事業費	175,934	0	175,934
企業債償還金	1,052,944	1,134,416	△81,472
その他支出	9,698	15,506	△5,808
資本的収支不足額	△2,420,553	△2,159,730	260,823
年度末繰越財源	2,456,562	3,416,502	△959,940

※R5年度末繰越財源については3月補正後の数値となっています。